

精神神経系症状

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	シメトレル 服用日付・時刻	異常な行動(有害事象)発 現日付・時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就 寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症 等の既往	睡眠驚愕症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料 No			
14					脳症		不明	不明	不明	後遺症									入院時の脳波は、全汎性高振幅徐波であり、頭部CTは、脳室の狭小化、脳溝の消失といった脳浮腫像と両側前頭葉の著明な低吸収を示していた。インフルエンザ脳症と診断し、本剤投与開始。 (第4病日)「おはよう」と声をかけても、数秒して「おはよう、おはよう、こんにちは」と相手の言葉を繰り返す反響語のみで、会話は成立しなかった。3・3・9度式による意識障害レベルは、20-30の段階となった。 (第5病日)頭部MRI拡散強調画像では、両側前頭葉皮質下に線状高信号、右中心前回に円形の高信号を認めた。DWIで高信号となった部分はfluid-attenuated inversion recovery (FLAIR)でも僅かに高信号だったが、T2強調画像では異常を見出せなかった。(第7病日)99mTc-ECD-SPECTは、両側前頭前野領域の著明な集積低下があり、発症1年4か月後でも改善はなかった。 (第15病日)座位が可能となり、つまり立ちができるようになったが、目をキョロキョロさせ落ち着かず、感情も不安定だった。 (第17病日)独歩が可能となり、簡単な会話もできるようになったが、一方的であり、意に添わないと物を投げつけたりした。 (第35病日)経口摂取、排泄及び運動機能が、発症前の状態に戻ったため退院。 (4歳時)退院後は、以前から通っている保育園に戻ったが、4歳を過ぎて「かなりしゃべることができるのに、相手の話を聞き取ることができない」、「ルールのある遊びができない」といった問題点が顕著となった。その後、小学校は特殊学級に入学。					
15	C01-2067	4	歳	女性	幻覚NOS	2001/3/19	不明	2001/3/19	21:00	○	×	不明	2時間	不明	2001/3/19 朝:39.4℃、 夕:39.5℃、 21:00: 38.1℃	不明	不明	不明	不明	不明	家族より電話があり「何かが見える」との発現があった」	23		
16	B04026544	4	歳	男性	情動障害NOS	2005/3/13- 不明	不明	2005/3/14	不明	不明	不明	不明	2時間	不明	2005/3/14: 40℃	不明	不明	不明	不明	不明	家族より電話があり「眠っていたが起きて、ニタッとしたり、遠い方向を見ている様で、笑ったりして呼名に反応しない」	54		
17	B05001694	4	歳	男性	錯乱状態 悪夢 幻覚 偶発的過量投与	2002 2002 2002	不明 不明 不明	2002 2002 2002	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	2ヶ月経過しているが、夜に悪夢や幻覚をみることもある	56			
18	B07000483	4	歳	男性	意識変容状態 幻覚 恐怖 喘息	2007/3/26 3/27	夜 朝	2007/3/26	内服約1時間 後	×	○	○	1日	不明	2007/3/26: 39.1℃ 3/27:38.3℃ 3/30:37.5℃	不明	不明	不明	あり	不明	なし	急に目を覚まし電燈を掃がり、大泣きをした。	59	
19	C99-19973	5	歳	男性	幻覚NOS 振戦NEC	2000/1/24	不明	2000/1/24	18:00	不明	不明	不明	1日	不明	2000/1/23: 39℃台	不明	不明	不明	不明	不明	不明	脈略のない音出現。「ペットボトルが入ってくる」「その黄色いのが痛い」など意味不明な発言を認めた。開眼するが意識障害あり。 手指振戦	7	
20	C03-327	5	歳	男性	幻聴	2003/1/24- 1/25	不明	2003/1/25	11:00頃	×	不明	不明	1日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	会話内容がおかしくなり、意識もうろうとなる。翌1/26 11:00頃まで会話に疎通性がなかった 朝、目は開けているが、寝ぼけたような様子で意味のわからないことを話していた。手を上に上げて動かすなどの行動も見られた。	42	
21	04010015	5	歳	男性	譫妄	2004/1/29- 2/2	不明	2004/1/30	朝	不明	不明	不明	1日	不明	2004/1/29(1 6:00):39℃ 2/2:39℃ 2000/2/12 15:30: 37.8℃ 2/13:37℃台	不明	不明	不明	不明	不明	不明	仮眠から覚醒後、上肢硬直、口唇をかんで、眼球前方視する状態が約2分続いた。呼びかけに反応がなかった。	52	
22	C99-19976	6	歳	男性	痙攣NOS	2000/2/12	12:40	2000/2/12	15:30	×	○	不明	6日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	仮眠から覚醒後、上肢硬直、口唇をかんで、眼球前方視する状態が約2分続いた。呼びかけに反応がなかった。	9	
23	C02-973	6	歳	女性	意識レベルの低下	2000/1/19- 1/22	不明	2000/1/19	投与開始18 時間後	不明	不明	不明	6日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	応答が鈍いため入院	28	
24	C02-1168	6	歳	女性	熱性痙攣	2/8(20:00以 降)-2/10	不明	2002/2/8	21:15	不明	不明	不明	3日	不明	2002/2/8夕 方:39.4℃	不明	不明	不明	不明	不明	有	自宅にて1分間の持続痙攣あり。続いて嘔吐。21:20再受診時、意識混濁持続。 2002/2/9傾眠。	30	
25	C99-19983	7	歳	女性	振戦NEC 筋脱力NOS 会話障害NEC 意識レベルの低下 筋痛	2000/1/25	11:00、19:00	2000/1/25	22:00	不明	不明	不明	同日	不明	2000/1/25 投与開始時: 39~40℃、 22:30: 38.2℃	不明	不明	不明	不明	不明	不明	22:00検温時右手翼状振戦5~6回	12	
26	C01-1887	7	歳	男性	意識レベルの低下 痙攣NOS	2001/3/12	不明	2001/3/13	12:10	○	×	×	2:10	同日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	救急外来、WBC10400、NH3 72に上昇。CRP2.7に上昇。培養から、A型溶連菌出現。ダイアップ施行、consciousness drowsyのまま、12:30、clearに帰る。 sleep後、convulsion発生。全身強直性+チアノーゼ。屈曲など明らかconvulsion(-) 錯乱状態になり、「バカヤロー」「ぶっ殺す」と言って暴れた。	22
27	C02-8882	8	歳	男性	錯乱状態	1/25(17:30 以降)	不明	2003/1/25	18:00	×	×	×	同日	不明	2003/1/25 2:00:38- 39℃	なし	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	
28	B04025396	8	歳	男性	脳症	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	死亡	-	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	本剤を服用した小児が発症後1-2日目にインフルエンザ脳症で寝ている間に突然死した。死亡前に特別な症状はなし。	53	